

あの中間発表の結果は如何に...

附中万博新聞第四号



「この場所で
招・笑・衝」を作り出せ!

ついに、運命の場所発表

突如の
放送

待望の
場所発表

5月23日の六時間目。附属山口中学校内：いや、人々の活気に溢れた附中万博開催地に、「ピンポンパーン」の音が鳴り響いた。各教室のスピーカーから突如として何者かの声流れ出す。「こんにちは。午後14時25分になりました。ニュースをお伝えします」何かと思えば、それまでに行われていた中間テストに関するニュースだった。全校生徒は、耳を澄ませ、ニュースの内容を聞いていた。その時だった。「速報をお伝えします」今までニュースを読み上げていた人の声色が変わった。「本日午後14時30分から、令和5年度附中万博のエリア活動場所発表が行われるとの情報が入りました」そう、各アンテナショップが待ちに待っていた場所発表が行われるのだ。

「時間になり次第、各エリアに官房長官が活動場所を伝えるべく、とのことです。各エリアの皆さんは、心して聞くようにしましょう。以上、14時のニュースでした」その言葉を最後に、スピーチから流れていたニュースが途絶えた。そして、14時30分、各アンテナショップの教室に、官房長官が現れた。エリアマネージャーの筋要した面持ちから、場の雰囲気は伝わってくる。そして、官房長官が手にしているフリップがめくられたとき、喜びの表情を浮かべた人、残念そうな表情を浮かべた人、どちらにもいるだろう。ただどちらにせよ、まだ中間地点に至ったばかりなのだ。場所がどこであれ、すべての企画が人を招き笑顔にし、衝撃を与える者になる事だろう。

官房長官・SPに迫る

今回、各エリアの結果を伝えた官房長官と、官房長官の専属SP、当日の様子についての取材に成功した。官房長官とそのSPは、ニュースの速報通り、14時30分、各エリアに厳重な警戒体制のもと、結果を知らせに訪れていた。我々新聞班とはまた違った感想を、新聞のために伝えてくださった。

望通りの結果だったと思うが、それを予想しきつてたのだろうか。あと三週間あるので、見通しをもって頑張ってもらえたら嬉しい。SH「長官は、発表前すごく緊張しておられました。しかし、ハッピーングもなく堂々と結果を発表して、あっしやいました。守る側として尊敬します。急な取材だったが、丁寧な答えをいただいた。

開催までのこり...

ついに、万博開催日まで残り三週間ほどとなった。企画の進捗はどうだろうか。一年生にとっては入学してすぐに始まった初めての万博。二年生にとっては、二年連続の附中万博。三年生にとっては、中学校生活最後の機会になるだろう。それぞれが所属している場所で、自身の個性は発揮できているだろうか。万博実行委員、エリア統括本部、エリアピックアップ運営事務局、表現係、万博エリア班どこに所属する人も、どんな役割を担っている人も、誰かが欠けてしまえば万博は成功しないだろう。万博開催日を含む一週間は、万博習慣となり、いままでよりもまとまった準備時間が取れる。同時に、エリアピックアップに向けた活動も、これから順次始まる。三つのSHOWと、一生懸命の二つを胸に、これらの活動を行ってほしい。

